

No. 19

## 看護倫理Ⅱ（実践編）

受講者ハイブリット

- 1 ねらい 看護職が専門職として身につけるべき倫理の基礎を基に、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定を支えるプロセスを学び、自施設の活動に活かす
- 2 主催 公益社団法人富山県看護協会
- 3 日時 令和7年10月17日(金) 9:30～16:30  
※受付は開始30分前から行います
- 4 受講方法 **対面・オンライン（ハイブリット形式）**
- 5 講師 老人看護専門看護師 辻めぐみ  
がん看護専門看護師 時山 麻美
- 6 対象者 Ⅱ～Ⅳ
- 7 受講料 会員 3,500円 非会員 7,000円
- 8 定員 80人
- 9 プログラム

時間	内容	講師
9:30～11:00	【講義】・倫理原則 看護職の倫理綱領、 ＜グループワーク①＞・自分の価値について知る ・価値観が多様である事を理解する	辻めぐみ 時山 麻美
	～休憩～	
11:10～12:30	【講義】・臨床倫理4分割表を用いた倫理カンファレンスの実際 ＜グループワーク②＞ 倫理的問題を共有し、身近なところで様々な倫理的問題があることを理解する。臨床実践の中で、「あれ、おかしい、もやもやする」と感じた場面を共有する。	
	～休憩～	
13:30～14:20	＜グループワーク③＞ ・事例を通し倫理的問題について臨床倫理4分割表を用い、整理する ・事例に潜む倫理的問題を顕在化しケアについて検討する	
14:20～14:50	発表・全体共有	
14:50～15:00	～休憩～	
15:00～15:30	【講義】・自部署で倫理カンファレンスを効果的に進める配慮と工夫について	
15:30～15:50	＜グループワーク④＞ 「自施設に戻りたい職場の倫理風土を育むために自分が取り組みたい事」について意見交換し実践に向けて動機付けする。	
15:50～16:15	【講義】・ACPの具体的な進め方や意思決定支援 ・研究倫理	
16:15～16:25	質疑応答・まとめ	
16:25～16:30	終了のあいさつ アンケート記入	